



第 63 号

発行人
福 井 県 剣 道 連 盟
理事長 市 橋 和 廣

事務局
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
榊マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

委員会活動報告

総務委員会



委員長 市橋和廣

今年度は総務専門委員会を六回開催しましたが、その主な委員会の協議内容と感想等を申し上げ、活動報告とさせていただきます。

一 協議内容

① 五月十七日十時から十二時まで（武道館会議室）

平成十九年度決算(案)、昇段審査および県剣道連盟主催の各種大会の参加に関する要綱(案)等について協議し、五月二十五日開催の理事会・評議員会の準備を行いました。

② 八月二十七日十九時から二十一時まで（剣道連盟事務所）

今年度の全剣連の有功賞の推薦候補者、今年度の収支見込み、今後の行事（審判講習会、北信越合同稽古会、伝達講習会、県剣道大会、形講習会、世界一剣道教室、県立武道館二十周年記念式典等）の実施方法等の協議を行いました。

③ 二月一日十四時から十六時三十分まで（剣道連盟事務所）

今年度の収支予算の補正見込み、学剣連の全国大会への補助二巡目国体に向けたジュニア育成・強化に関する要綱(案)、地区分担金、高浜地区剣道連盟の独立問題等について、今後の理事会・評議員会への提案方法等について協議しました。

④ 三月四日十九時から二十一時まで（剣道連盟事務所）

今年度の収支決算見込み(案)、

来年度の事業計画及び予算(案)、地区分担金の見直し(案)等について原案をもとに協議を行いました。

二 感想等

スムーズな事業運営や今後の運営方法等について適宜協議を行い一定の成果があったと考えています。今後ともより一層当剣道連盟の発展を考えながら、皆さんのご意見等を踏まえつつ、適切な時期に開催していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

広報専門委員会



委員長 西川 譲

広報専門委員会は、土谷会長の「剣道連盟の発展のためには広報活動が重要

である。剣道連盟の活動を会員に知らせたり、これを使って交流を図ることが大切である。また、剣道の良さや我々の活動を一般の方々に発信して、福井県剣道連盟の存在を知らせ、普及活動に活用していくことが必要である。そのためには広報活動を活性化させるために、広報委

員会を作る必要がある。そして、『剣道だより』を年四回程度発行することやホームページを開設することをやりたい。」との御意向から平成十九年度に新しい専門委員会として発足しました。

本委員会は、警察、高体連・中体連などの学校関係者、少年剣道、実業団、女性委員会、県立武道館、有識者から選ばれた十一名のメンバーで組織されています。主な活動は、年四回の「剣道だより」の発行とインターネットのホームページの作成と掲載です。「剣道だより」では、剣道連盟の活動や各種大会の取材、各地区連盟、少年剣道団体、高体連、中体連、警察、実業団、女性委員会の活動について掲載をしています。

剣道だよりをお読みいただいている方々からは、「大変読んでいて楽しい紙面になっている。」「新しい取り組みがあり、毎号楽しみにしている。」等の声が寄せられています。

ホームページには「剣道だより」よりも早く試合結果等を掲載したり、試合や稽古会の案内を掲載しています。ホームページには月平均一、〇〇件のアクセスをいただいております。アクセス数は増える傾向にあります。広報委員会の今後の課題としては、「剣道だより」の紙面の充実をすること、会員の皆様一人一人のお手

元に「剣道だより」が確実にお届けできる方法を確立すること。ホームページの充実を図ることで。今後も広報活動に頑張っていけますので、御協力のほどお願いします。

研究指導専門委員会

副委員長 柳原潤一郎



本委員会の昨年度までの会合において、本県の剣道の普及発展を考えたとき

に最も重要なことは、県内の各種大会における審判技術の向上であるとの認識を持ちました。特に小中学生等の少年を対象にした大会における審判の是非が、子供の剣道を続けようとする意欲に大に関わってきます。しかしながら、これまで規則を十分に勉強する機会がなかった方にも審判をお願いしなければ大会が運営できない、というのが本県の現状です。そこで今年度は、全日本剣道連盟より講師を派遣していただき、審判法講習会を実施させていただきました。九月六日(日)に行われた講習会では、講師の有馬光男範士八段(大阪府)から講義並びに実技指導を通して、審判員としての心構え、位置どり、有効打突の規準等につい

て熱心にご指導いただきました。当日は小・中・高等学校の体育祭と重なるところが多く、教職員の先生方にとつては参加していただきにくい日程となったことが反省点としてあげられます。今後もこのような講習会において最新の審判技術を学び、受講された方々が、各地区剣連において正しい審判法の普及に努めていただければと願っております。

また、十月十九日(日)には、女性委員会の協力を頂き、第十二回世界剣道選手権女子団体優勝メンバーで、全日本女子選手権三連覇を達成した埼玉県警の村山千夏氏を講師としてお迎えして「世界一女性教室」を開催しました。県内各地から中学生以上の女性剣士が一〇〇名以上受講され、村山先生の世界一の技と、真摯に稽古に取り組む姿勢を学ぶことができました。平成二十一年度には、第一回の女子都道府県対抗大会が開催されることになり、本県女子選手の資質と競技力の向上にはタイムリーな企画であったと感じております。



選手選考・強化委員会

委員長 堀江範雄



二十年度は各大会の選手選考については、県内予選会を行い、その結果県内ではトップレベルの選手を選考出来たと思えます。

しかし、各全国大会での成績は、都道府県大会こそは二回戦まで勝ち上がりましたが、北信越国体では、少年男子・女子、成年女子とも本国内に出場できず、また、本国内ストリート出場の成年男子も一回戦負けと、振るわない成績でありました。

この原因につきましては、国体選手決定後は、県外遠征もできず、福井市、越前市の剣道連盟会員の先生方との合同稽古のみで、練習試合も行わずに、安易な考えで大会に臨んでしまった、当然の結果であると思えます。私、強化委員長の怠慢であったと深く反省しているところであり

ます。大分国体会場で、他県の監督と話す機会がありました。そこで、「勝ち機とは何か」とお聞きしたところ「チームの結束」であると言われました。遠征訓練等を行い、寝食を共にすることにより結束が固まり、見

えない力が生まれてくるんだと言われました。なるほどと痛感した次第であります。

二十一年度はそのことを踏まえ、一月から専門委員会を開催し、今後の強化訓練の検討を重ねました。結果、本県連盟会員の先生方にご協力をお願いし、三月から強化訓練(毎週土曜日、午後七時から県立武道館)○特別強化訓練(毎月の指定土曜日午後六時から県立武道館)を設けて、とりあえず、都道府県選手を中心とした稽古並びに稽古を行うおうと決めました。

三月には、毎週強化訓練後、直ちに福井市剣道連盟会員の先生方と合同稽古をさせて頂き、週を重ねることにより他支部会員の先生方、中学生、高校生も参加して頂き、稽古人数が増え、活気あふれる稽古会になっています。皆様方のご協力を深く感謝しています。

また七月には岐阜県への遠征も決定し、今後は、県内外的に訓練の強化を図って行きたいと考えています。

二十一年度は、実施されます全部の全国大会で、一回戦突破を目標に、訓練強化をしていく所存です。今後とも、皆様方のご協力をよろしくお願いたします。

少年剣道専門委員会

委員長 堤 腰 昭



当専門委員会は、平成十九年三月に策定された「福井県剣道連盟長期構想」

に従い、幼少年剣士の発掘、育成、強化及び組織の統括を課題として、十五名の専門委員により活動を行っております。

二十年度からは、三年前に始めた福井県ジュニア育成強化剣道大会で選考された小学1年生から六年生までの少年少女を対象に毎月一回、強化錬成を計十一回行つて参りました。二十一年度も、二月八日に行われた「第三回福井県ジュニア育成強化剣道大会」の各部門ベスト8入賞者及び当委員会推薦の剣士若干名を対象に、毎月一回、強化錬成を行う予定です。

本年三月七日〜八日には、専門委員の指導技術の向上、指導内容の統一を目的とした研修会及び稽古会を開催しました。また、福井県剣道連盟主催の「少年剣道錬成大会」の主管運営も第四十一回大会より行っております。

福井県知事が年頭に、二順目国体の招致を行う旨発表したことを受け

て、当委員会の果たさなければならぬ責務も一段と重さを増して参りましたが、十五名の委員が他の関係委員会とも密に連携をとりながら、福井県剣道連盟の底辺拡大、発展のため頑張つて行く所存です。

居合道専門委員会

委員長 酒 田 雅 人



居合道専門委員会の当面最大の課題は何と申しましても居合道人口の拡大、

そしてレベルアップという事に尽きると思います。

二十年度はこの問題に対し幾度か委員会を開いて協議してまいりました。それに基づき二十一年度には、県外より高段の先生方にお越しいただいての講習会、ならびに審査会の実施を計画しております。

また、福井県居合道大会の企画、運営も当委員会の大事な仕事のひとつです。今年度は福井県独自の団体戦の在り方を模索する為、新方式を採用り入れて実施いたしました。その為事前に講習会ならびに稽古会を催し、大会の円滑な運営を図りました。

その他、居合道中央講習会受講者による伝達講習会、正月の初稽古会、

越前市での合同稽古会なども、当委員会の重要な仕事のひとつとして進めてまいりました。

今後も福井県全体に剣道連盟居合が定着していくよう、各事業への県内全域からの参加を目指して努力して参る所存であります。

女性委員会

委員長 田 中 佐代子



日頃より、女性委員会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

お陰様にて、平成二十年度は世界一剣道教室に村山千夏先生をお招きし、たくさんの方々が参加することができました。努力によって夢は叶うものであり、継続することの大切さを教えていただきました。

女性が生涯を通して剣道を続けることは大変なことです。家庭があり、育児があり、仕事があり、町内・学校等の行事があり…と、どれひとつ疎かにすることなどできません。そんな状況の中で、県・市等々各種大会をはじめ錬成会、講習会等にたくさんの方々が活躍いただいていることに畏敬の念を持つとともに、

心から感謝申し上げます。

男女雇用均等法が施行されて久しいですが、未だ家事全般、日々日頃の雑務は女性の仕事とされているのが現状であり、そのような中、子どもたちの為にとなんとか時間を捻出しておられるご苦労は計り知れないと考えずにはおられません。しかし、より多くの子どもたちに剣道の素晴らしさを知ってもらうには、お母さん方の協力が必要不可欠です。いざれ母親となる若い女性を含め、多くの女性に剣道の素晴らしさを知っていただき、かつ続けて戴くためには活動しやすい環境を整えることが大切であると考えます。

女性が無理なく、快適に楽しく活動を続けていけるよう、錬成会をはじめ情報交換等を含めた交流会を今後とも計画していく所存でありますので、何卒ご指導ご協力のほどお願い申し上げます。



試合結果

福井県中学校

冬季剣道強化錬成大会

平成二十一年一月三十一日(土) 於 敦賀市総合運動公園

平成二十一年一月三十一日(土)、男子三十八校、女子二十四校が参加し、敦賀市総合運動公園にて開催された。

▽男子団体戦

・準決勝

丸岡南中

1 / 1 - 0 / 0 明倫中

栗野中

2 / 1 - 1 / 0 丸岡中

・決勝

丸岡南中

1 / 1 - 0 / 0 栗野中

男子団体戦決勝は、丸岡南中对栗野中の対戦となり、先鋒戦から大将戦まで息の詰まる展開となった。先鋒戦はお互い慎重に攻めあつて、引き分け。次鋒戦は、栗野中の山本が、丸岡南中の白波瀬から引き技を狙っていくが、惜しくも一本にならず引き分け。中堅戦は、丸岡南中の吉澤が強気で先に攻めるが、久保田の防御を崩すことができず、引き分け。

副将は互いにじっくり攻め合う展開になり、引き分け。そして大将戦、丸岡南の西井が合い面を制し、丸岡南を初優勝へと導いた。



▽女子団体戦

・準決勝

三方中

4 / 3 - 0 / 0 栗野中

丸岡中

5 / 3 - 1 / 1 清水中

・決勝

三方中

5 / 3 - 2 / 0 丸岡中

女子の団体戦決勝戦は秋の新人戦に引き続き、三方中对丸岡中の対戦

となった。

試合は三方中の先鋒小堀が合い面で勝ち、先に一本を取り、丸岡中の荒木に面を取り返されるが、再び合い面勝負で、小堀が面を取った。次鋒戦は、引き分け。中堅戦は、合い面を制した三方中の中西が一本勝ち。副将戦は、丸岡中の元矢が先に面を取るが、三方中の青木が出小手を見事にとらえて、引き分けにもちこみ、秋の新人戦に引き続き三方中が優勝を決めた。



〈冬季大会の決勝の対戦表〉

男子

○丸岡南

対

栗野中

先鋒

中川

引き分け

村田

次鋒

白波瀬

引き分け

山本

中堅

吉澤

引き分け

久保田

副将

田谷

引き分け

菅野

大将○西井 ⊗

1 / 1

宮本 0 / 0

女子

三方中

対

丸岡中

先鋒○小堀

⊗メメ

荒木

次鋒

百田

引き分け

遠藤

中堅○中西

⊗

牧野

副将

青木

引き分け

元矢

大将○川島 ⊙

5 / 3

福岡 2 / 0

第57回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会 福井県予選会

平成二十一年二月一日(日) 於 福井県立武道館

・先鋒(高校生)の部

北村 透(丸岡高校)

・次鋒(大学生)の部

西川 真平(筑波大学)

・五将(18歳以上35歳未満、警察職員、教職員、高校生、大学生を除く)の部

西川 航平(嶺南東養護学校)

・中堅(教職員、年齢制限なし)の部

相馬 友(福井工業大学)

・三将(警察職員、年齢制限なし)の部

竹内 健(福井県警機動隊)

・副将(35歳以上、警察職員、教職員を除く)の部

堤腰 一昭 (敦賀地区剣道連盟)
 ・大将 (50歳以上、剣道教士七段以上) の部
 西川 讓 (勝山南高校教頭)



**第3回福井県ジュニア
 育成強化剣道大会**

平成二十一年二月八日(日)
 於 福井県立武道館

▽小学1年生の部

優勝 志尾 陽章 (三国少年剣道教室)
 第二位 増永悠希哉 (木田剣道スポーツ少年団)
 第三位 岡田 俊介 (春江少年剣道スポーツ少年団)
 田崎 健斗 (養正館)



▽小学2年生の部

優勝 山川 咲愛 (養正館)
 第二位 佐々木祐登 (吉川剣道スポーツ少年団)
 第三位 川崎 叶也 (豊剣道スポーツ少年団)



第三位 佐藤 翔馬 (敦賀剣道スポーツ少年団)

▽小学3年生の部

優勝 前田 凱斗 (鯖江剣道スポーツ少年団)
 第二位 小辻 朋未 (武道学園剣道教室)
 第三位 早川 惠理 (五常館)
 加藤菜摘子 (吉川剣道スポーツ少年団)



▽小学4年生男子の部

優勝 馬淵 稜也 (敦賀剣道スポーツ少年団)
 第二位 三橋 良仁 (武道学園剣道教室)
 第三位 刀裯 隼人 (木田剣道スポーツ少年団)
 道内 将誉 (福井東部少年剣道教室)



▽小学4年生女子の部

優勝 中山 知実 (木田剣道スポーツ少年団)
 第二位 佐々木郁美 (大野市剣道スポーツ少年団)
 第三位 笹木 良笑 (三国少年剣道教室)
 八幡 明依 (武道学園剣道教室)





▽小学5年生男子の部

- 優勝 高木 龍人
(南条剣道スポーツ少年団)
 第二位 早川 太悟(五常館)
 第三位 中田 隆翔(五常館)
 第三位 久保 瑛
(福井少年剣道スポーツ少年団)

▽小学5年生女子の部

- 優勝 田崎樹理亜(養正館)
 第二位 早瀬 夏貴(福井東部少年剣道教室)
 第三位 向野 一夏(三國少年剣道教室)
 第三位 向出 晶子
(芦原剣道スポーツ少年団)

▽小学6年生男子の部

- 優勝 池田 佳樹
(向笠剣道スポーツ少年団)
 第二位 馬淵 貴大
(敦賀剣道スポーツ少年団)
 第三位 三浦 思聞(武道学園剣道教室)
 第三位 松井 涼平
(敦賀剣道スポーツ少年団)



▽小学6年生女子の部

- 優勝 野村 知加(志士樹館)
 第二位 飯塚 麻貴
(豊剣道スポーツ少年団)

第三位 岡田真由香(武道学園剣道教室)
 第三位 市村 真希
(芦原剣道スポーツ少年団)



第3回福井県ジュニア育成強化稽古会の開催について

少年剣道専門委員
 船田 久三郎

少年剣道専門委員会の事業の方向としては、全国レベルの技量を目指し、選手の成長と発達に対応しながら、その可能性を最高度に引き出すために、少年剣道段階からの選手発掘、育成および強化の統一した方針を策定しています。

主な事業としては、ジュニア育成強化稽古会の開催です。本年二月八日(日)福井県立武道館において、第三回福井県ジュニア育成強化剣道大

会を開催し、各学年・各部門に入賞したベスト8までの選手等を選抜し、毎月第二土曜日福井県立武道館および越前市武道館において、三月十四日から平成二十二年一月九日までの間(十一回)、ジュニア育成強化稽古会を開催します。講師には、少年剣道専門委員会のメンバーが中心となつて指導にあたります。

また、少年剣道専門委員会においては、去る三月七日・八日の二日間、技術力・指導力の向上を目指して研修会を開催しました。

なお、稽古会の日程については以下のとおりです。都合により日時・場所等を変更する場合がありますので、事前に確認の上、ご参加ください。

(連絡先)
 TEL〇七七六一三六一三六三 船田

	月 日	時 間	場 所
1	3月14日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
2	4月11日(土)	13:30~15:30	越前市武道館
3	5月9日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
4	6月13日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
5	7月11日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
6	8月8日(土)	13:30~15:30	越前市武道館
7	9月12日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
8	10月10日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
9	11月14日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
10	12月12日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館
11	1月9日(土)	13:30~15:30	福井県立武道館



松陵中学校剣道部

松陵中学校剣道部は、二年生二名、一年生十一名の計十三名で稽古を行っています。部員には、経験者ばかりでなく、初めて竹刀を握ったものも多くいますが、顧問の長澤いづみ先生の指導の下、めきめきと力をつけてきています。顧問自らが、進んで講習会等に参加して、知識や技術を習得し、指導に生かそうと努力を続

みんなの広場

剣道部
クラブ紹介

武生第二中学校剣道部

昭和三十六年十二月、当時在職中の小谷泰正先生と小泉宗之先生の呼びかけにより三十余名が集まり創部にいたりしました。創部当初から、優秀な成績を収め、当時の学校文集の中には、『まだ、生まれたてはややなの、桃太郎のようにめきめきと成長し、バタバタと強い鬼どもを倒した剣道部』という記述があります。現在に至るまでに、男子は第十八回(宮城県)、女子は第三十回(鹿児島)の全国中学校剣道大会を経験し、個人でも北信越大会、全国大会に多くの選手を輩出してきました。現在の在籍部員は、男子十六名。多くの輝かしい成績を残された先輩方に追いつきたいという一心で、毎日の稽古に励んでいます。強いチームではあ

けています。また、部員は剣道が大好きで、指導されたことを進んで吸収しようとする素直さがあります。県大会に出場し、活躍できるよう、日夜稽古に励んでいます。
(塩谷 和明 記)



花 椿

ホテルアーバンポート

小浜市白鳥72-1

TEL 0770-53-2001

FAX 0770-53-2003

おすしでヘルシー

やまと寿し
本店

小浜ショッピングセンター前

小浜市四谷町20-35
0770-53-3300

回転寿し

やまと

ママーストア東小浜店

小浜市遠敷5-401
0770-53-3211

釜めし

とんかつ

和風料理

やまと庵

小浜ショッピングセンター前

小浜市四谷町20-13
0770-53-3450



りませんが、剣道が好きな生徒がたくさんいるチームです。目標は県大会ベスト4、北信越大会出場です。写真の「裂帛の氣」は二〇〇四年一月の寒稽古の際に小泉宗之先生にいただいたものです。内容は「絹を引き裂くような鋭い氣勢」です。相手を圧倒する強い気持ちと自分を奮い立たす強い気持ち。勝負にはそんな心持ちで挑みたいと考えています。



若狭地区剣道連盟

稽古場所：小浜市武道館

高浜町B&G体育館

稽古日：小浜市 火・木（午後七時～八時三十分）、土

（午後一時三十分～四時）

高浜町 水・土（午後六時三十分～九時三十分）

若狭地区剣道連盟は、平成元年に上中町、小浜市、大飯郡の剣道連盟がまとまり福井県剣道連盟の傘下として発足しました。その後、市町村



合併により、上中町と三方町が合併し、若狭町と名称変更となったことを機に、小浜市と大飯郡の二地区より構成となりました。現在、会員数三十七名の小団体ですが互いに切磋琢磨し、和を大切に、日々、心と体を鍛えています。

連盟での活動としましては、年四回の昇級審査のほか、各地区で開催されます大会への参加、小浜地区では年四回、大飯郡では年一回、計五行行われております。さらに特徴的な事業として、昭和四十四年から続いている嶺南剣道大会です。この大会は、嶺南地区の交流大会で、嶺南三地区が毎年持ち回りでを行い、剣道はもちろんのこと嶺南地区の友情を長年深め合っています。その他に、昨年は二日間の日程で行われました、福井県小浜市地方青少年剣道錬成大会

箸の持ち方で親の躰がわかる

子どもの手にあった理想のお箸

ポポとミミの六角知能箸

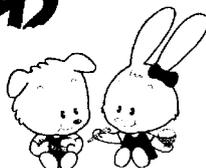


〒917-0298

福井県小浜市流前5-13-1

TEL 0120-118480

http://www.e-hashiseiwa.com



“誠心誠意ご奉仕”をモットーとする

総合建設業

株式会社 塩野工務店

代表取締役 中山 義正

小浜市住吉50-17

TEL (0770) 52-2650番代

FAX (0770) 52-2651番

がありました。地元、小・中学生を対象に、全剣連から派遣講師による剣道の正しい理念と技能を習得させることにより、地方武道の振興と競技力向上を図ると共に、青少年の健全育成に寄与することを目的に行われ、実りある時間を過ごさせて頂きました。

これからも会員の勧誘を積極的に、更に盛り上がった雰囲気の中で、活動を続けていきたいと思っております。今後とも各先生方のご指導、ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願いいたします。

〈年間行事〉

- 六月 ・北近畿剣道大会 (高浜町)
- 七月 ・昇級審査
- 九月 ・小浜市民剣道大会 (小浜地区)
- 十一月 ・昇級審査
- 十一月 ・嶺南大会
- 十二月 ・ライオンズ杯剣道大会 (小浜地区)
- 二月 ・昇級審査
- 二月 ・柔剣道大会 (小浜地区)
- 二月 ・剣道感謝祭 (小浜地区)
- 三月 ・昇級審査

(新谷 勝利 記)

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十一年二月十一日

越前市武道館

「初段」 三十六名

- 迎田 健人 (永平寺中)
- 中西 理 (森田中)
- 酒井 啓太 (足羽第一中)
- 徳島 悠斗 (森田中)
- 竹内 洸太 (栗野中)
- 清川 大輝 (足羽第一中)
- 猪坂 昇平 (藤島中)
- 坂本 紳悟 (足羽第一中)
- 山本 光太郎 (栗野中)
- 酒井 貴義 (森田中)
- 上田 大貴 (今庄中)
- 森田 大輝 (角鹿中)
- 山内 一樹 (池田中)
- 藤井 祐希 (今庄中)
- 鈴木 溪一 (永平寺中)
- 宮越 淳 (森田中)
- 綿谷 龍一 (武生第二中)
- 白崎 智 (足羽第一中)
- 林 正樹 (気比中)
- 宮下 直大 (角鹿中)
- 黒田 健太 (科技高)
- 瓜生 哲也 (丹生高)
- 中村 裕貴 (金津高)
- 森川 彰太 (丹生高)
- 原田 裕介 (警察官)

「貳段」 二十四名

- 柴辻 将史 (栗野中)
- 宮本 和輝 (栗野中)
- 二本松 佑樹 (美方高)
- 藤丸 和也 (高志高)
- 彦田 純也 (金津高)
- 川島 宏之 (美方高)
- 長田 昇大 (科技高)
- 清水 貴央 (高志高)
- 中西 規泰 (美方高)
- 石丸 裕司郎 (美方高)
- 森下 奨士 (武生高)
- 平野 智大 (美方高)
- 三上 泰弘 (福井地区)
- 中谷 実伸 (越前地区)
- 森腰 徹男 (福井地区)
- 松村 春香 (三方中)
- 中村 笙子 (福井大学附属)
- 堀田 実花 (金津高)
- 玉井 麻美子 (美方高)
- 岩佐 亜紀 (福井地区)
- 五十嵐 佑季 (科技高)
- 山口 真理奈 (美方高)
- 前嶋 美里 (科技高)
- 番場 彩 (角鹿中)
- 笹山 ほたる (栗野中)
- 谷崎 里紗 (今庄中)
- 山本 実来 (今庄中)
- 澤崎 真実 (今庄中)
- 村田 早紀 (角鹿中)
- 川田 華倫 (今庄中)

「参段」 六名

- 嶋田 貴之 (啓新高)
- 市野 耕大 (美方高)
- 金子 亮介 (丸岡高)
- 宮本 浩平 (敦賀高)
- 小倉 武士 (勝山地区)
- 酒井 ちなみ (啓新高)
- 松田 真緒 (敦賀高)
- 小林 菜津美 (武生高)
- 中村 美花 (武生東高)
- 山口 詠子 (敦賀高)
- 吉村 紗弥花 (北陸高)

「四段」 五名

- 西川 真平 (筑波大)
- 小林 和洋 (福井地区)
- 山本 哲生 (鯖江地区)
- 柳原 明 (勝山地区)
- 関根 祥斗 (朝日大)

「五段」 一名

- 鈴木 秀典 (警察官)



ペンリレー

女性剣士の部屋

敦賀市剣道連盟 杉田 彰子

私が剣道を始めたのは、剣道への理想と現実のギャップで次々と新入部員が辞めていく十月、高校一年の秋でした。その当時の師匠、西川先生は、はちきれんばかりの若さと情熱で時に厳しく、また時に恐ろしく、そしてまた時に力強く剣道を教えて下さりました。その反面、美方高校の剣道部員たちは三方という土地柄なのか、みんな親戚、幼なじみといった雰囲気のお陰か、毎日の稽古がとても楽しく、他の部員よりスタートの遅かったことなど何も気にすることなく、いろんな大会にも出場させていただきました。どのスポーツにおいても同じことが言えると思います。厳しく辛い練習があつて、負けるという悔しさ、勝つことの喜びを知った時に、そのスポーツが本当に楽しく感じられるのではないのかと、師匠や仲間に出会って知りました。月日は流れ、アラフォーとなった今、心も体もさらに成長し、週二日の稽古なのに、一日はゴスペルの練習に力を注ぎ、剣道の稽古はちよつと休みがち。たまに稽古に行った時は気合いで脅し、床を破壊しそうな勢いで踏み込み、相手をすり抜け!! たかと思つと「疲れた」とお先に失礼してしまふ。たまに大会に出場すると、ある先生に「杉田! ああ体当たりは素晴らしい!!」と誉められ、嬉しいような悲しいような。そんな私が今でも竹刀を握つていられるのは二人の子どもが剣道を続けているお陰、理解し協力してくれる家族のお陰と感じております。これからも師匠譲りの激をとばしながら細く長く剣道を続けていきたいと思つています。よろしくお願ひします。

平成21年度事業計画

Table with columns: 期日, 曜日, 事業名, 場所, 開催者, 備考. Contains monthly activity schedule from April to March.

Table with columns: 期日, 曜日, 事業名, 場所, 開催者, 備考. Contains monthly activity schedule from April to March.

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616